
平成29年度北栄町高校生議会会議録

平成30年1月15日（月曜日）

議事日程

平成30年1月15日 午前9時35分開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 一般質問

出席議員（12名）

| | | |
|-----------|------------|------------|
| 1番 田中 創太君 | 2番 中本 万虎平君 | 3番 土橋 健太君 |
| 4番 布廣 隆斗君 | 5番 真多 敦志君 | 6番 盛山 莉子君 |
| 7番 松浦 もも君 | 8番 盛山 翼君 | 9番 竹本 大雅君 |
| 10番 加藤 凌君 | 11番 松村 隆雅君 | 12番 岩崎 晃大君 |

議長（1名）

議長 山口 浩一君

（北栄町議会事務局出席職員職氏名）

事務局長 磯江 恵子君 副主幹 福田 香織君
事務補佐員 長谷川 利恵君

説明のため出席した者の職氏名

| | | | |
|--------------|---------|--------------|--------|
| 町長 | 松本 昭夫君 | 副町長 | 西尾 浩一君 |
| 教育委員長 | 福光 純一君 | 教育長 | 別本 勝美君 |
| 総務課長 | 手嶋 俊樹君 | 企画財政課長 | 小澤 靖君 |
| 住民生活課長 | 倉光 顕君 | 福祉課長 | 田中英伸君 |
| 健康推進課長 | 吉田 千代美君 | 産業振興課長 | 手嶋 寿征君 |
| 観光交流課長 | 松本 裕実君 | 教育総務課長 | 磯江 昭徳君 |
| 生涯学習課長 | 杉本 裕史君 | | |

午前9時20分 高校生議会開会式

○事務局長（磯江 恵子君） 皆さんおはようございます。定刻になりましたので高校生議会をはじめます。

この高校生議会は、鳥取中央育英高等学校が取り組んでいる「地域探究の時間」の推進と、今年度の成果発表の場として、また、選挙権年齢が18歳以上となったことに伴い、主権者教育の一環として、次世代を担う高校生に地元北栄町の町政・町議会への関心を高めてもらうことを目的に開催するものです。

それでは開会式に移ります。はじめに、北栄町議会議長 飯田正征がごあいさついたします。

北栄町議会議長あいさつ

○町議会議長（飯田 正征君） 皆さん、おはようございます。本日開催の高校生議会も今回で4回目となりました。今回、高校生議員の皆さん12名から11問の一般質問の通告がありました。

鳥取中央育英高等学校におきましては、取り組んでおられます「地域探究の時間」でしっかりと北栄町を見ていただいていると思います。高校生議員の皆さんの視点で、町政に対してしっかりと、どんどんと意見を言っていただきたいと思います。皆さんの意見が町政に反映されることがとても大事だと思っています。皆様方のご意見が町政に反映されるようよろしくお願いをいたしましてごあいさつとさせていただきます。

○事務局長（磯江 恵子君） 続きまして、松本昭夫北栄町長がごあいさついたします。

北栄町長あいさつ

○町長（松本 昭夫君） 皆さん、おはようございます。高校生議会も4回目となりました。皆様方から大変貴重なご意見を伺いまして、本当にうれしく思っているところであります。若者らしく本当に素直な意見をいただいているところでありますし、また、それに対しまして町といたしましても、できるものはすぐに実施しているところであります。

今回、12名の方にご意見を伺っているところでありますが、これにつきましてもできるものは速やかにしてまいりたいと思います。また、予算がかかったり、時間がかかったりするものもあると思いますが、皆様方に十分に答えてまいりたいと思っているところであります。

来年には皆さんも18歳になられまして、選挙権が行使されるわけでありまして、やはり選挙を通して町をよくしていく、あるいは国をよくしていく、こういうことが大切でございますので、これからもこの「地域探究」をする中で、いろいろな町の取り組みであったりとか、あるいは町の資源を生かした町づくりであったりとか、そういうものをそれぞれの市町でしていただきますようお願いをいたしたいと思います。

今日は本当にご苦勞様でございます。

○事務局長（磯江 恵子君） 最後に、鳥取中央育英高等学校 御船齋紀校長にあいさつをお願いします。

鳥取中央育英高等学校長あいさつ

○校長（御船 齋紀君）

おはようございます。鳥取中央育英高校の校長の御船と申します。北栄町議会の皆様方、そ

れから町長様をはじめ行政の皆様方、高校生議会を設定していただきまして本当にありがとうございます。

私、正月にケーブルテレビで北栄町の成人式の様子を見ました。最後のほうでインタビューがあったんですけども、「北栄町が大好きだ」と新成人たちが言います。「地元就職してここで暮らしたい」「北栄町は安心できるいい町だ」と一様に言っておりました。編集のこともあってそういうことになったのかもしれませんが、でも、そもそも若い時になかなか地元のよさというものに気がつかないものであります。でも、北栄町はいいと若者が分かり、そしてそこで暮らしていくことが自分のビジョンだということまで言えるというのは、おそらくいい町政が行われていることだろうと。ということは、取りも直さず議会が本当に適切に機能しているという何よりの証拠だろうと考えております。この高校生議会も、「高校生の話を聞いてやろうか」ということであります。若者をとてども大事にしてくださる、そういう町なんだなとつくづく感じます。

高校生たちは選挙法の改正によりまして、在学中に選挙権を得て選挙行動を起こす、いわゆる社会にコミットするという、そんな時代になりました。公民教育というものが本当に必要になってくる時代であります。

本校は3年前から、これも北栄町さんの全面的なバックアップをいただきまして「地域探究の時間」というものに取り組みました。地域をフィールドとして地域を探究します。その中で生徒たちは地域のよさに出会い、そして問題にもぶつかります。行政の方々や、あるいは地域の専門家の方々のご示唆を受けながら、その問題について高校生なりに解決策を導いていっています。この高校生議会はその総集編と言いますか、発展応用編という位置付けになると思います。こんな貴重な機会を作っていただきましたことに改めて感謝申し上げます。今日はよろしく願いいたします。

○事務局長（磯江 恵子君） それでは、これより高校生議会の本会議をはじめます。

北栄町議会議長による、高校生議長の指名

○町議会議長（飯田 正征君） 高校生議会の開会にあたり、議長として、山口浩一議員を指名いたします。

午前9時28分開会

○議長（山口 浩一君） ただいま議長の指名を受けました、鳥取中央育英高校2年の山口浩一です。鳥取中央育英高校と北栄町にとって有意義な高校生議会となりますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

○議長（山口 浩一君） それでは会議をはじめます。ただいまの出席議員は13人です。定足数に達していますので、これより平成29年度北栄町高校生議会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりです。

日程第1 会議録署名議員の指名

- 議長（山口 浩一君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。本会期中の会議録署名議員は、議長において、1番 田中創太議員、2番 中本万虎平議員を指名します。
-

日程第2 会期の決定

- 議長（山口 浩一君） 日程第2、会期の決定を議題とします。
お諮りします。今回の会期は、本日1日としたいと思います。これにご異議ありませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕
- 議長（山口 浩一君） ご異議なしと認めます。よって、会期は本日1日と決定しました。
-

日程第3 諸般の報告

- 議長（山口 浩一君） 日程第3、諸般の報告をします。
本会議の出席者は、お手元に配布の資料のとおりです。
-

日程第4 一般質問

- 議長（山口 浩一君） 日程第4、一般質問を行います。
届け出順により、順次質問を許します。
1番、田中創太議員。
- 議員（1番 田中 創太君） 1番、田中創太です。災害発生時の避難所での電源確保について町長に質問します。
地域探究で調べる中で、災害発生時に自分の所在や家族の安否を知る方法としてスマホや携帯は必需品となっており、災害時にはN T Tから避難所にモバイルバッテリーなどが配布されるということを知りました。
そこで、初めから各避難所に発電機及び、スマホ・携帯電話の充電器、モバイルバッテリーを整備してはどうかと思いました。各避難所独自で常備しておくことは大切だと思い町長の考えを伺います。
- 議長（山口 浩一君） 松本町長。
- 町長（松本 昭夫君） 田中議員のご質問にお答えいたします。
災害発生時の避難所での電源確保についてのご質問でございます。
まずはじめに、発電機についてでございますが、避難所の電源確保に関しましては、鳥取県と県下の市町村の申し合わせの中で、非常用発電機は県が担当して確保することとなっております。なお、町では2台の発電機を保有しておりますが、災害時には、県が備蓄保管しているもののほか、町と協定を結んでいる町内の建設業者から借り受ける方法を予定しており、発電機の確保は出来ますので、現在のところ、新たに避難所ごとに発電機を設置する必要はないと考えております。
次に、スマートフォン・携帯電話用のモバイルバッテリーや充電器についてでございますが、

鳥取県中部地震の際には、携帯電話事業者のご好意により、避難所に無料Wi-Fi用の設備や、携帯電話・スマートフォン用の充電ケーブルを無償で貸し出していただきました。今やスマートフォンや携帯電話は、日常生活の中で手放せないものとなっており、災害発生時においても、連絡手段として、そして情報入手手段の一つとして活躍するツールでございます。このような利用背景がある一方で、実際の災害時には避難の際にスマートフォンを持ち出すことは忘れな
いかもしれませんが、それを充電するための充電器を忘れてしまう人が多いという実態もある
ようでございます。鳥取県中部地震の避難所の中でも多くの利用があったでしょうから、振り返ってみれば、通信事業者から機器の貸し出しを受けられたことは大きな支援であったと改めて感謝する次第です。

今後は、防災研修などで非常持ち出し品の説明を行う際には、この中に充電器を加えていただくような呼びかけをしたいと思いますし、議員ご提案のとおり、町の備蓄品の中にモバイルバッテリーと充電ケーブルを加えるよう準備したいと思います。なお、備蓄品は避難所ごとに置く方法ではなく、備蓄倉庫でまとめて管理する方法をとっていますので、モバイルバッテリーと充電ケーブルも同様の方法で管理するようにしたいと思います。

○議長（山口 浩一君） 田中議員。

○議員（1番 田中 創太君） 再質問します。

町長のお話によると、発電機は県や町からの支援で、鳥取県中部地震の際は避難所に整備されていたということですが、その当日ぼくは鳥取県にはおらず避難所への避難も経験していません。そこで、例えば食事や毛布の提供など、バッテリー以外の避難所での被災者の方への支援にはどのようなものがあったのかお伺いしたいです。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 鳥取中部地震については、電気はすぐに復旧したということで発電機等の使用はあまりなかったと思っております。また、その他にどのような支援をしたかということでございますが、毛布であったり、食事であったりは当然するようにいたしましたし、それに伴いまして、日赤の方等から食事の提供をしていただいたというようなこともございました。それから水であったりとか、あるいは福祉避難所も用意しておりましたので、虚弱体質の方とか、障がいのある方等はそちらに移動していただきまして、簡易ベッドを使ったりしてそちらのほうに寝ていただいたというようなことをしているわけであります。

○議長（山口 浩一君） 田中議員。

○議員（1番 田中 創太君） 様々な支援があったようですが、避難所において、避難者からの不満や要望などはどのようなものがあったのかお伺いしたいです。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 特には聞いていませんが、避難所に来られるということになれば、やはりずっといれば健康の問題であったりとか、あるいは福祉の関係の方はそういう不安というものもあるわけでありまして、そういう不安を取り除くためにお話を伺うとか、あるいは保健師とかJMAT（災害医療チーム）とか来られて健康診断されたりとか、そういうこともしておりますので特に大きな不満は聞いていないところです。

○議長（山口 浩一君） 田中議員。

○議員（1 番 田中 創太君） 災害にあわれた住民の方にとって、町からの手厚い支援はとても頼りになるので、今後も手厚くしていただきたいです。

以上で質問を終わります。

○議長（山口 浩一君） 以上で、田中創太議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（山口 浩一君） 2 番、中本万虎平議員。

○議員（2 番 中本 万虎平君） 2 番、中本万虎平です。お台場の活用策について町長に質問します。

お台場には、今レプリカの大砲はあると思いますが、余り目立っていないように感じます。水木しげるロードの妖怪像のように、寄附金を集めシンボルとなるような巨大な大砲と砲身からの滑り台を作ってはどうか。大きいほうがお台場の目玉にもなると思います。

また、それと並行して、青山剛昌ふるさと館は旧運転免許試験場跡地へ移転リニューアルしてVR体験が出来るような施設にし、今のふるさと館は反射炉の資料を展示するような記念館とするのはどうでしょうか。町長のお考えを伺います。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 中本議員のご質問にお答えいたします。

お台場の活用策についてのご質問です。

巨大な大砲レプリカの製作につきましては、寄附を集めることによって多くの方に関心を持っていただき、さらに砲身からの滑り台を作れば子どもたちも多く集まり、子どもから大人まで由良台場の歴史に触れながら楽しむことができるともよいアイデアだと思います。しかしながら、由良台場は国の史跡であり、当時の姿のまま保存することが基本となりますので、巨大大砲滑り台を設置することは困難でございます。

由良台場は、青山剛昌ふるさと館、コナン通りの近くにあります。また、由良川沿いには藩倉跡などお台場ゆかりの場所が数多くあるため、コナンの賑わいと相乗効果を高める取り組みはとても大切だと考えています。今後、議員の御質問にある考え方を大切にしながら、お台場以外での大砲や、寄附を主体とした取り組みについて研究してみたいと思います。

次に、青山剛昌ふるさと館の旧運転免許試験場跡地への移転に関してのご質問でございます。

出会いの広場（旧運転免許試験場跡地）の活用についての構想は現時点ではありませんが、今後、構想を検討していく中で、青山剛昌ふるさと館が出会いの広場に移転するようなことになれば、VR体験についても安全確保のため常時1名以上のスタッフが補助員として必要ということはあると思いますが検討してみたいと思います。その場合、青山剛昌ふるさと館は六尾反射炉を模した施設ですので、歴史、文化を発信する施設として活用することも考えてみたいと思います。

○議長（山口 浩一君） 中本議員。

○議員（2 番 中本 万虎平君） 以上で質問を終わります。

○議長（山口 浩一君） 以上で、中本万虎平議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（山口 浩一君） 3番、土橋健太議員。

○議員（3番 土橋 健太君） 3番、土橋健太です。町報に本校生徒のコラム欄を作り、若者との意見交換に活用してはどうか町長に質問します。

町報に「北栄町にこんなことをしてほしい」「こうすればどうですか」といった感じで200字程度のコラム欄を作り、継続して高校生などの若者の意見を書いていくようなことが出来たらと思っています。コラムに注目してもらうために、タイトルは「若者の広場」とするのはどうでしょうか。

次年度、地域探究の情報発信班等で継続させたいと考えていますが、町長はどのようにお考えですか。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 土橋議員のご質問にお答えいたします。

町報に本校生徒のコラム欄を作り、若者との意見交換に活用してはどうかとのご質問でございます。

このことについては、昨年高校生議会において町のほうから、広報誌に育英高校の情報コーナーを設け、地域探究などの取り組みを紹介してはどうかとご提案させていただきました。また、町議会からも育英高校の情報発信について同様のご提案もいただいておりますので、昨年の春以降、何回か学校に対しまして、育英高校の情報発信についてどうですかとご提案をさせていただいてきました。

私といたしましては、まちづくりに若い人の考えや視点も必要と考えており、また、地元の高校である鳥取中央育英高校の取り組みを、町民の皆さんにも知っていただくよい機会だと考えています。ご提案につきまして、すぐにでもお受けする準備ができていますので、次年度と言わず、今すぐにでも取り組んでいただければと思います。

○議長（山口 浩一君） 土橋議員。

○議員（3番 土橋 健太君） 再質問です。私たち高校生だけでなく、若い人たちの声を生かして町の活性化につなげるため、地元を活性化する課「JK課」を設置する考えはありませんか。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 若い人の意見を聞くコーナーというのも作ってもいいかなと思っていますので、まず、きっかけは鳥取中央育英高校の生徒の皆さんにお願いしたいと思っています。

それから「JK課」というのは、今、日野町がつくってしまして、日野高校の生徒16人くらいが活動していると伺っているところでありまして、なかなかおもしろい取り組みだなと思っています。そういうことが出来れば、町としても実施してまいりたいなと思います。そういうことになれば、鳥取中央育英高校の生徒の皆さんが主体になってやっていただくということになりますので、その節はよろしくお願ひいたしたいと思ひます。

○議長（山口 浩一君） 土橋議員。

○議員（3番 土橋 健太君） 以上で質問を終わります。

○議長（山口 浩一君） 以上で、土橋健太議員の一般質問を終わります。
次に進みます。

○議長（山口 浩一君） 4番、布廣隆斗議員。

○議員（4番 布廣 隆斗君） 4番、布廣隆斗です。高齢者が病気やケガをせず生き生き過ごせる町にするには、について町長に質問します。

私たちは健康作りについて調べました。その中で「健康貯筋運動」と出会いました。健康貯筋運動とは北栄スポーツクラブが進めている高齢者対象の体操で、高齢者の意見を取り入れ「シニアスポーツ教室」と「こけないからだ体操」の中間レベルになっているものでした。簡単な体操なので指導者の育成も容易だそうです。

そこで、指導者の育成はもちろん、こども園の子どもたちや小中学生からお年寄りまで出演するDVDを作ることで、親しみがもてるDVDになると思います。作って配布してはどうでしょうか。DVDは高齢者ひとり暮らしだと操作できないかもしれません。そこで、セットとして、ケーブルテレビで定期的に流し、町民みんなが体操できるようにするのはどうでしょうか。

月に一回程度は、こども園の子どもや小中学生と高齢者が地域で集まり、イベント的に体操し、ふれあい、年中行事などの伝統を子どもたちに伝えます。例えば、1月はとんどさん、3月はひな祭り、12月は餅つき、しめ縄作りなどです。そういうふれあいがあることで、高齢者も健康で生き生き生活できると思います。

巡回的なことが無理なら、UDタクシーをそのイベントに限り無料とし、乗り合いで来ていただき楽しんでいただくのはどうでしょうか。町長の考えを伺います。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 布廣議員のご質問にお答えいたします。

高齢者が病気やケガをせず生き生き過ごせる町にするには、についてのご質問でございます。

高齢者が生き生きと自立して暮らしていくためには、生活習慣病の発症・悪化を予防するとともに、適度な運動で活動できるための元気な体をつくり、なるべく外に出て人と交流することで、生きがいや役割を持つことが大切です。議員のご提案は高齢者の健康を考える上でとても重要であり、よいご提案だと思います。

「健康貯筋運動」は、健康寿命の延伸を目的として「健康寿命日本一大作戦」の中心メニューとして取り組んでいます。DVDにつきましては、今年度、健康貯金運動をわかりやすく紹介するよう鳥取中央育英高校の皆さんのご協力により、運動を説明するDVDを作成したところであります。DVDは現在、健康寿命日本一大作戦に取り組んでいただいているモデル自治会の7自治会でご活用いただいています。今後も呼びかけを進め、取り組んでいただく自治会を増やし配布する予定にしています。

まずは、歩いて行ける場所で町民が交流し、健康への取り組みが広がっていくことを大切に進めたいと考えています。また、現在「こけないからだ体操」やTCCが放送している「TCC体操」もあり、議員仰せのとおり体力、身体の状況に応じた運動をすることも大切だと考えていますので、個別の配付やケーブルテレビでの放映は、今後の状況を見ながら検討してまい

りたいと思います。

今年度作成したものは、高校生の皆さんにモデルとなっていただきましたが、今後作成する際には、もっと幅広い年代の方に出演していただくような方法も考えてみたいと思います。また、自治会にこの健康寿命日本一大作戦を軸にした子どもからお年寄りまでが集えるいろいろな取り組みをしていただくようお願いしてまいります。

最後に、そのような地域でのイベント的な集まりに、タクシーを無料にして乗り合わせで参加してもらうようにしてはどうかというご提案でございます。

現在、町では運転免許証がない等の事情により、移動手段に困っている65歳以上の方等を対象に、通院や公共施設、買い物などどこに行く場合でも、利用されたタクシー料金の一部を助成するタクシー利用料助成事業を実施しております。議員仰せのイベントへの参加も、このタクシー利用料助成事業を利用いただければ、すぐにでも対応は可能でございます。ただ、現在のところ、そのイベント的な集まりの内容が具体化していない状況では、無料化については考えておりませんので、より具体的になった時点で検討してみたいと考えております。

○議長（山口 浩一君） 布廣議員。

○議員（4番 布廣 隆斗君） 以上で質問を終わります。

○議長（山口 浩一君） 以上で、布廣隆斗議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（山口 浩一君） 5番、真多敦志議員。

○議員（5番 真多 敦志君） 5番、真多敦志です。ふるさと納税の返礼品について町長に質問します。

地域探究のグループ発表で、北栄町に足を運ばせてほしいと指摘を受け、考えたのがコナンを生かしたふるさと納税の返礼品です。年配の方は温泉にゆっくりつかり、日本海のおいしいものを食べます。子どもはコナンの銅像をチェックしたり、ふるさと館で遊びます。大人も子どもも楽しめるふるさと納税になるのではないのでしょうか。

また、北栄町に来てもらうことで魅力が伝わり、リピーターになってくれるのではないのでしょうか。コナンツアーがらみの温泉チケットについて旅行代理店等と企画すれば、観光客も増えると思うのですが、町長のお考えを伺います。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 真多議員のご質問にお答えいたします。

ふるさと納税の返礼品についてのご質問でございます。

コナンツアーがらみの温泉チケットを、旅行代理店等と企画してはどうかのご提案でございます。

ふるさと納税は、自身のふるさとや地方の自治体の取り組みを応援する気持ちを形にする仕組みとして創設されたものであり、その寄附のお礼として、各自治体が地元の特産品や加工品など多種多様な物品を取り揃えて、お好みの品物を寄附された方が選択されるものであります。北栄町の返礼品も特産品の大栄西瓜やブドウ、また地酒や加工品など地元の自慢の物品を取り揃えて、感謝の気持ちとともに、北栄町の特産品等のPRも兼ねてお送りしています。

コナンツアーがらみの温泉チケットを返礼品とすることにつきましては、北栄町には温泉がないためできませんが、他の温泉のある自治体とコラボして返礼品とすることができるかどうか調べてみたいと思います。

また、議員ご提案のコナンを生かすという趣旨には私も賛成であり、すでに北栄町の返礼品には町内企業のコナングッズのセットや、町観光協会のコナンオリジナルポロシャツとコナングッズセットを返礼品としていますし、今後もいろいろなコナン関連の返礼品を考えていきたいと思います。

また、1万円以上の寄附をしていただいた方全員に、北栄町の^{たいげん}体券クーポンをプレゼントしています。これは、北栄町内の協賛企業で使っていただける優待券でございます。この優待券の中には、青山剛昌ふるさと館の割引券や、昨年3月にオープンをした「コナンの家 米花商店街」の割引券や商品サービス券などもあり、北栄町のPRと誘客にコナンを生かした取り組みを実施しています。

また、ふるさと納税とは関係ございませんが、温泉に来られる観光客に、北栄町にも来ていただくための取り組みとして、三朝温泉の旅館協同組合に加盟しておられる旅館の全客室に、青山剛昌ふるさと館と北栄町の観光農園の収穫体験スタンプラリーのチラシを配置させていただいているところでございます。

今後も、北栄町の魅力であるコナンを生かしたPRや誘客活動は、積極的に行ってまいりたいと考えているところであります。

○議長（山口 浩一君） 真多議員。

○議員（5番 真多 敦志君） 以上で質問を終わります。

○議長（山口 浩一君） 以上で、真多敦志議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（山口 浩一君） 6番、盛山莉子議員、7番、松浦もも議員。

○議員（6番 盛山 莉子君） 6番、盛山莉子です。

○議員（7番 松浦 もも君） 7番、松浦ももです。ほくほくプラザの事業充実について教育委員長に質問します。

地域探究の中で3回ほくほくプラザを訪れ、お話を聞いたり、絵本の読み聞かせを体験しました。ほくほくプラザは悪天時の遊び場、親子で楽しめる、子どもたちの思い出づくりの場、異文化交流など何度も参加したくなる、参考になるなどメリットがたくさんあるように感じました。

○議員（6番 盛山 莉子君） 子育て支援にもなる活動を拡大し、ほくほくプラザのコミュニティーセンターだけでなく、各地区の公民館や北栄町のこども園など、施設への出張講座や読み聞かせ会も積極的に増やして、意見交換をして交流を深めるのはどうでしょうか。教育委員長の考えを伺います。

○議長（山口 浩一君） 福光教育委員長。

○教育委員長（福光 純一君） 盛山議員、松浦議員のご質問にお答えいたします。

ほくほくプラザの事業充実についてのご質問です。

ほくほくプラザは北栄町の人権発信の拠点施設です。「一人ひとりを大切にする」ことを活動の中心として、人権について理解を深めるための啓発、広報、講座や相談・交流事業、文化的な講座を行っています。また、児童館として幼児やその保護者などの子育て支援や交流を図る事業、子どもたちが健やかに育つための体験、ものづくりなどの教室を開催したり、放課後や土曜日、日曜日に子どもたちが遊んだり、交流できる施設でもあります。

ご質問にあります出かける事業につきましては、昨年度から生涯学習出前講座メニューとして「子ども会、親子会活動を応援します」や「人権ワークショップ」などに取り組んできています。また、今年度も「わくわくとびだす絵本読み聞かせ」をメニューに追加し、積極的に出かける取り組みを進め、北条こども園の4歳児親子会の中で読み聞かせとゲームを行うなど、子ども会や保護者会に楽しみながら学ぶ機会を提供してきています。

今後も、毎月ご家庭に配布している「ほくほくプラザだより」やこども園、保育所（園）、小学校に配布している「スマイル通信」などにより、ほくほくプラザの取り組みや出前講座などについてお知らせするほか、子ども会や保護者会に案内するなどしてより多くご利用いただけるよう取り組みを行ってまいります。今日の議員のご質問を励みにこれからもがんばっていかうと考えています。

○議長（山口 浩一君） 松浦議員。

○議員（7番 松浦 もも君） 再質問します。ほくほくプラザの活動時に高校生ボランティアの募集をするのはどうでしょうか。

○議長（山口 浩一君） 福光教育委員長。

○教育委員長（福光 純一君） 先ほど議員がおっしゃった、高校生ボランティアを募集するということについては大変いい取り組みではないかなと思いますので、私も同感でありますので、そういう取り組みを今後進めていきたいと考えます。

○議長（山口 浩一君） 盛山議員。

○議員（6番 盛山 莉子君） 出張講座についての内容例ですが、高齢の方を対象にけん玉やおはじき、お手玉など昔の遊びを対象として、ほくほくプラザの活動を広めるのはどうでしょうか。

○議長（山口 浩一君） 福光教育委員長。

○教育委員長（福光 純一君） ほくほくプラザの今までの活動につきまして、ご指摘がありましたように、今まではどちらかというと子どもたちやその保護者を中心とした取り組みのほうが多く、そういう催しを行ってしまして、お年寄りとかそういう方についても案内はしているのですが、なかなかご参加もいただけていないということもありますので、その点については、今後力を入れて取り組みを進めていきたいと思います。

○議長（山口 浩一君） 松浦議員。

○議員（7番 松浦 もも君） これで、私たちの質問は終わります。

○議長（山口 浩一君） 以上で、盛山莉子議員、松浦もも議員の一般質問を終わります。次に進みます。

○議長（山口 浩一君） 8番、盛山翼議員。

○議員（8番 盛山 翼君） 8番、盛山翼です。東宝ストアと連携し、移動販売車を導入してはどうか町長に質問します。

ぼくたちは地域探究で調べる中、高齢者が増え、その中でもひとり暮らしの方が増えていると知りました。近くにスーパーや商店がない地域など、冬になると買い物に出るのも大変だと思います。定期的に集会所での販売や、電話での注文にも対応していかなくてはいけなくなる時代が来るかも知れません。

町内でアンケートを取りモデルケースの地区を決め、東宝ストアと連携し、移動販売車を導入してみるのはいかがでしょうか。町長の考えを伺います。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 盛山議員のご質問にお答えいたします。

小売り業者と連携し、移動販売車を導入してみてはどうかというご質問でございます。

議員がおっしゃるとおり、北栄町でもひとり暮らしの高齢者世帯は年々増加しており、そういった方たちの買い物支援につきましては、町としてもとても大きな課題と認識しております。そのため、移動販売車の実施については、これまでに業者に打診をしてみたこともありますが、人手不足や採算の面で実施は考えていないというような回答をいただいております。

そのようなことも踏まえ、町では、運転免許証がない等の事情により、移動手段に困っておられる65歳以上の方等を対象に、駅や公共施設、買い物などに行くために利用されたタクシー料金の一部を助成する「タクシー利用料助成券事業」を実施しております。この事業につきましては、これまでは町内の決められた場所に行く時にしか使えませんでした。昨年4月からは、町外のどこへ行く時にも使用できるように制度を拡充いたしました。これにより、よりたくさんの方の場所やお店に行くことが出来るようになったと考えております。

また、社会福祉協議会においても、昨年4月から、ちょっとした困りごとの手助けがほしい時に生活支援サポーターの人が助けに来てくれる「あったか・まごころサービス」をはじめられました。このサービスの中にも、買い物の代行をしてくれるサービスもございます。また、鮮魚や野菜など特定の品物にはなりますが、すでに町内で移動販売をしておられる業者の方もございますし、生協のようにグループでカタログ注文し配達する業者もおられます。

町といたしましては、当面、このようなサービスを利用させていただくことで買い物支援を続けていきたいと考えており、町が関わっての移動販売車の実施については、今のところ考えてはいないところでございます。

○議長（山口 浩一君） 盛山議員。

○議員（8番 盛山 翼君） 再質問します。高齢者の方は、自分で商品を手に取りかごに入れ、財布を取り出し支払いを済ませるといった原始的ともいえる動作に、自分の生きがいを感じておられる方もいると思います。そのような方のためにも、他県ではコンビニの移動販売もあるので、コンビニと連携してみるのはいかがでしょうか。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） そういう方法をしているところもあると思います。今後はそういうこともお話をさせていただきたいと思っております。ただ、業者でございますので、やはり採算が取れないとなかなか実施に移れないということもありますので、そういうことも十分考慮しながらお話を進めてまいりたいと思っております。お話をしてみて、どうかということはまだ分かりませ

んけど、話はさせていただきたいと思います。

○議長（山口 浩一君） 盛山議員。

○議員（8 番 盛山 翼君） 今、お話をしてみると言っておられますが、いつごろまでにお話をしてもらえますか。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） なるべく早くあたってみたいと思います。

○議長（山口 浩一君） 盛山議員。

○議員（8 番 盛山 翼君） 以上で質問を終わります。

○議長（山口 浩一君） 以上で、盛山翼議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（山口 浩一君） 9 番、竹本大雅議員。

○議員（9 番 竹本 大雅君） 9 番、竹本大雅です。まんがやアニメを観光客の誘客に活用してはどうか町長に質問します。

青山剛昌ふるさと館がアニメの聖地として登録されたことは新聞で知りましたが、本当の意味での聖地とは作品の舞台になった所であり、それを目指す人たちをターゲットにするものだと知りました。

平成 27 年にお台場サミットをされているので、そういうところを舞台に新作をかいでもらうと、観光客が増えファンも喜ぶと思います。1 月には帰って来られるし、町をあげて頼んでみるのはどうでしょうか町長の考えを伺います。

アニメファンだからといって、コナンも好き、鬼太郎も好きとは限りませんが、「Free」「ひなびた」「コナン」「鬼太郎」を結びつけ、各地区連携して、鳥取県内に滞在しながらアニメを満喫できるようなツアーの企画を、北栄町の観光交流課が各地区のとりまとめとして主となり、代理店と連携して考えて旅行プランを発信していくのはどうでしょうか。町長のお考えを伺います。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 竹本議員のご質問にお答えいたします。

まんがやアニメを観光客の誘客に活用してはどうか、についてのご質問です。

青山先生に由良台場を舞台とした「名探偵コナン」の新作をかいでもらってはどうか。また、町をあげて頼んでみるのはどうかとのご質問でございますが、これまでも、いろいろな方から北栄町を舞台とした「名探偵コナン」の作品を、青山先生にかいでもらってはどうかとお話は伺っているところであります。

これまでの青山先生の作品で、2010 年に公開された映画「名探偵コナン 天空の難破船」の中に登場した愛知県西尾市の佐久島には、コナンファンが多く訪れたとのお話も伺っているところであります。

竹本議員ご指摘のとおり、由良台場をはじめ町内を舞台とした作品が登場すれば、これまで以上に北栄町を目指して来ていただける観光客も増えると思います。私といたしましても、これまで青山先生にお願いをしてきているところでございます。しかしながら、青山先生の作品

への想い、お気持ち等がございますので、それらを最大限尊重しながら、今後も折をみてお願いをしていきたいと考えているところであります。

次に、北栄町がとりまとめ役となり、鳥取県内のアニメを満喫できる旅行プランを発信してはどうかのご質問でございますが、竹本議員ご指摘のとおり、鳥取県内には北栄町の「名探偵コナン」や境港市の「ゲゲゲの鬼太郎」をはじめとした多くのまんが・アニメコンテンツを活用したまちづくりがそれぞれの市町で進められているところであります。また、鳥取県は観光交流局内にまんが王国官房を設置し、「まんが王国とっとり」をPRしているところでございます。私としましては、県、市町それぞれの役割、著作権の問題もありますので、鳥取県内のまんが・アニメコンテンツの連携につきましては、県が中心となって進めていただき、各市町が連携、協力していく姿がよいのではないかと考えているところであります。北栄町といたしましては、今後も、「名探偵コナンに会えるまち 北栄町」の魅力を磨き上げ、さらなる魅力ある観光地づくりを行っていききたいと考えているところであります。

○議長（山口 浩一君） 竹本議員。

○議員（9番 竹本 大雅君） 再質問します。町長はコナンを好きですか。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） はい、大好きであります。

○議長（山口 浩一君） 竹本議員。

○議員（9番 竹本 大雅君） 私は鳥取県内のコナンの作品で、米子市の米子駅や鳥取市の鳥取砂丘を舞台にした作品を見ましたが、鳥取県中部を舞台にした作品は見たことがないので、北栄町を舞台にし、例えば、由良宿に余り人が流れていないと聞きましたが、その由良宿の町並みに入ってもらうために、由良宿の町並みを作品にしてもらうのはどうでしょうか。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 中部の景色の一部をかいた作品もあります。湖上の中に温泉があって、そういうのをかいた作品があるわけでありまして。はっきり中部とはかいてないわけでありまして、そういうのもあるということです。

先生のお気持ちを最大限にということをお話ししましたが、このコナンは、殺人事件が基でそれを解決するということでもありますので、その殺人の現場が、北栄町が舞台になったらどうかということをご心配されているようでございます。そういうことは心配されずに、というようなこともお話しさせていただきながらお願いをしているわけではあります。なかなかそこまでいっていないということでございます。何とか、北栄町の風景をまんがにかいていただけるように、さらにお願いをしたいと思います。

また、由良宿の町なかにも、今度、新しいブロンズ像を設置するようにしていますので、そういうものが出来れば、また由良宿のまちのほうにもお客さんが流れてくる可能性もあるだろうと思っています。あとは、来られた方をどうやっておもてなしするかということも大切だろうと思っています。そういうことも考えながら、これからのコナンのまちづくりを進めてまいりたいと思っています。

○議長（山口 浩一君） 竹本議員。

○議員（9番 竹本 大雅君） 以上で質問を終わります。

○議長（山口 浩一君） 以上で、竹本大雅議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（山口 浩一君） 10 番、加藤凌議員。

○議員（10 番 加藤 凌君） 10 番、加藤凌です。イチゴ農家を増やし加工品に力を入れ、駅前か米花商店街に店をつくり、宣伝につなげることについて町長に伺います。

イチゴは若者にも需要があり、いろいろな加工も可能です。地元のケーキ屋さんも声をかけているとは思いますが、不二家以外の大手企業とコラボすることでPR効果も上がり、需要を増やすことができると思います。スイカ、ナガイモについてイチゴを売り出し、イチゴ農家を増やしていくのはどうでしょうか。遊休農地もあるし、町も施設設備で協力しておられるようなので、イチゴ農家は儲かりますよとホームページ等で宣伝すれば、移住農家が増えるのではないのでしょうか。

また、駅前や米花商店街に直営店を設け、加工品を販売していくのはどうでしょうか。イチゴだけでなくスイカの加工品、グッズなどの開発費を町が負担し、商品を作っていくのはどうでしょうか。町長の考えを伺います。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 加藤議員のご質問にお答えいたします。

イチゴ農家を増やして加工品に力を入れ、駅前か米花商店街に店をつくり、宣伝につなげるのはどうかのご質問でございます。

まずはじめに、大手企業とコラボすることでPR効果も上がり、需要を増やすことができるのではとのお尋ねでございます。

現在のところ町内のイチゴ農家は、JAを通して市場への出荷、また個人選果で市場や直売所への出荷、並びに観光農園をしておられます。

また、本町が出資している㈱北栄ドリーム農場の第1作目は、JA系統の出荷で市場 62%、直売所 35%、不二家 3%の取り引きでしたので、地元の飲食店やケーキ屋さん等への直接取り引きはしていない状況であります。

不二家以外の大手企業とコラボして、PR効果を図ることについてでございますが、現時点では、不二家への要望量に対して充足できていませんので、まずは不二家との取り引きをしっかりと結実させることが先だと考えております。また、将来的には、町内のいちご農家が㈱北栄ドリーム農場と一緒に不二家やJA系統の取り引きをしたいという希望があるようであれば、そのような連携にも取り組んでみたいと考えており、そうした取り組みにより不二家や市場の要望量に対応できる産地として、町内外からも認められてくるものと考えているところでございます。

一方で、議員仰せのとおり、大手企業や地元の飲食店において本町並びに㈱北栄ドリーム農場のイチゴが活用されることは、PR効果が期待できる場所でもありますので、そのような要望があれば可能な範囲でオーダーに対応していきたいと考えております。

いずれにいたしましても、現段階ではしっかりと産地づくりを進めることが、不二家や市場のさらなる信頼を得ることにつながり、需要も伸びてくるものと考えております。需要が伸びてくれば、当然にイチゴ栽培の基盤が整ってまいりますので、イチゴ農家を増やしていけ

るものと考えております。

次に、ホームページ等で宣伝し、移住農家を増やしてはどうかとお尋ねでございます。

本町には、遊休農地や不在地主となって耕作されていない農地などがあり、それらの引き受け手となる担い手農家はなかなか見つからない状況であります。そうした中、儲かるイチゴの栽培をきっかけに本町に移住者を呼び込んで、遊休農地などで生産活動をしていただくことは農業振興のみならず地域振興としても有効な施策といえます。

(株)北栄ドリーム農場では、ICT環境モニタリング装置を導入しておりますが、LED電照、炭酸ガス発生装置、加温設備など環境制御するだけでなく、栽培データの蓄積と分析により栽培マニュアルや労務管理マニュアルの作成に生かすことが可能となっております。このデータはイチゴ農家や、イチゴ農家を目指す方に提供していく考えであります。これらのデータは、資金、知識経験・技術、農地、人脈など、これらを持ち合わせていないとなかなか農業に参入することができなかった方のハードルを少しでも下げることになり、農業に参入しやすい環境の提供につながるのではないかと考えております。

その中であって、議員仰せのホームページなどを活用したPRは、非常に有効な手段だと言えますので、ホームページのほかパンフレットなどを作成して、大阪や東京で開催される移住相談会などの機会を通じて、農業に興味があり北栄町への移住を検討している方に、本町での取り組みや農業参入のしやすさを前面に押し出してまいりたいと思います。

農家が増えれば、産地が拡大するばかりではなく、本町にとっても大きな活気が生まれるものと確信し、期待しているところでございます。また、それこそが地方創生の取り組みの本旨とも考えているところでございます。

次に、駅前や米花商店街に直営店を設け、加工品を販売していくのはどうかとお尋ねでございますが、創業まもない(株)北栄ドリーム農場が直営店を設けて運営していくことは、現時点では難しいと考えています。しかしながら、町民の方や民間事業者が店舗を設置したいとか、運営したいなどの要望がありましたら、本町で設けております創業支援事業等により、店舗開設を町として積極的に支援していきたいと考えております。

最後に、加工品やグッズなどの開発費を町が負担し、商品を作っていくのはどうかとお尋ねでございます。これにつきましても、町民の方や民間事業者が開発をしたいという要望がありましたら、その者を支援していく方向で検討したいと思っております。

○議長（山口 浩一君） 加藤議員。

○議員（10番 加藤 凌君） 再質問します。イチゴ農家は北栄町内ではどのような存在であるべきだとお考えですか。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 北栄町では、イチゴ農家は今のところ余り多くございませんが、しかし、これから大変有望な作物でございますので、ぜひ、頑張ってください面積拡大であったり、あるいは良質なものを作っていただきたいと思っております。

また、そういう方たちが収益を上げ所得が増えてくるということになれば、新たにイチゴを作ってみようかという農家も増えてくると思っておりますので、頑張ってくださいなと思っております。

○議長（山口 浩一君） 加藤議員。

○議員（10番 加藤 凌君） 以上で質問を終わります。

○議長（山口 浩一君） 以上で、加藤凌議員の一般質問を終わります。
次に進みます。

○議長（山口 浩一君） 11番、松村隆雅議員。

○議員（11番 松村 隆雅君） 11番、松村隆雅です。ご当地グルメとなるようなメニューの開発について町長に質問します。

私たちは、実際にいろいろな料理を試作しました。その結果おいしいものも出来ました。鶏肉のタマネギソース浸けや、特産になりつつあるイチゴを使ったパンケーキ、ブルーベリーケーキ、スイカシャーベット、梨カレー、ねばねばプリンなどです。私たちだけでは限界があるので、給食センターや婦人会に協力してもらい商品化してはどうでしょうか。

また、それを小中学校や介護施設でモニタリングし、道の駅のレストランや米花商店街のレストランで売り出すのはどうでしょうか。雇用促進にもつながるのではないのでしょうか。町長のお考えを伺います。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 松村議員のご質問にお答えいたします。

ご当地グルメとなるようなメニュー開発についてのご質問でございます。

まずはじめに、私たちだけでは商品化できないので、給食センターや婦人会に協力してもらい、小中学校や介護施設でモニタリングをお願いし、道の駅のレストランや米花商店街のレストランで売り出すのはどうかとのお尋ねでございます。

北栄町の特産品を全国に広めようとお考えで、ご当地グルメの試作をされたことに対しまして心より敬意を表しますとともに、この研究の成果が、ぜひ商品化につながるようになればと期待するものでございます。

商品化にあたっては、年代、性別など誰を購買対象とするのか、また、地元消費者それとも観光客を捉えて販売するのかターゲットを想定した上で、材料調達、生産、輸送、販売など一連のコスト計算をしながら商品企画を行う必要があります。その上で、ターゲットに対して素材の持ち味をいかに引き出して商品自体の魅力向上を図るかを考え、試作を繰り返しながら商品開発を行ってまいります。さらに、出来上がった商品をうまくPRしながら消費者に届ける販路を確保する必要があります。

この商品化の一連の流れを踏まえて、地域探究の時間を活用して質問で述べられました町内事業者の方や団体に声掛けを行い、開発されたメニューの試食会を開催し、商品化することはとてもよい取り組みだと思います。

また、商品開発をきっかけに、既存の店舗も新しいメニューとして追加したり、新たに町で飲食店を開業してみたいなどの動きにつながるかもしれません。北栄町には食事ができるお店が余りございません。ご当地グルメを作ることによって食事のできる店が増えれば、雇用促進にもつながってまいります。幸いにして、北栄町には全国に誇る農畜産物が豊富にございます。松村議員が試作されたメニューをはじめ、新たなメニューも考えていただき、小学校、あるいは介護施設等多くの方に声かけをし、試食会を開催して商品化に向けた取り組みが出来ればと

考えています。

松村議員をはじめ高校生のみなさんにおかれましても、若者ならではのアイデアを提案していただき、北栄町並びに北栄町の特産物の魅力アップにご協力いただければと思っていますところでもあります。

○議長（山口 浩一君） 松村議員。

○議員（11番 松村 隆雅君） ぜひ、商品化をお願いします。

以上で質問を終わります。

○議長（山口 浩一君） 以上で、松村隆雅議員の一般質問を終わります。

次に進みます。

○議長（山口 浩一君） 12番、岩崎晃大議員。

○議員（12番 岩崎 晃大君） 12番、岩崎晃大です。子育て支援の具体策について町長に質問します。

三朝町や琴浦町は、第2子以降の子どもに対し保育料を無料にしていますが、すべての子どもの保育料を無料に出来ないかと考えました。所得制限はありますが国もその方向で議論していますし、それに北栄町は先んじてやってみてはどうかということです。その効果を考えると、経済的に負担が減るので子どもが産みやすい、育てやすいとなり、移住してくる人も増えると考えられます。人口減少も緩やかになるはずですが。

そのためのサポートとして考えたのが「子育て支援マップ」です。子育てに必要なものはどこに行けば買えるのかなどが一目でわかるもので、子育て世代にやさしい町となります。

基本的には住居のことなどもあると思いますが、一つの方法だと考えます。町長の考えを伺います。

○議長（山口 浩一君） 松本町長。

○町長（松本 昭夫君） 岩崎議員のご質問にお答えいたします。

子育て支援の具体策についてのご質問でございます。

第2子以降の保育料を無料化にして、子育て支援をとのご提案をいただきました。

北栄町の第2子の保育料をご紹介いたしますと、本町では、こども園に入園するお子さんの人数やその世帯の所得により、全額いただいたり、半額いただいたり、無料になったり、いろいろな場合がございます。

県内には、三朝町や琴浦町のように第2子以降を無料にする町が全部で7町あり、そのうち第1子目から全額無料としている町が3町あります。これらの多くは、中山間地域の人口を維持する目的の国県の補助金で実施されています。残念ながら、その補助金は北栄町にはございません。補助金がないので北栄町は実施しないのかということになりますが、子育て支援のため、まだ、具体的には申し上げられませんが、新たな保育料の軽減を行うよう考えているところでもあります。議員仰せのとおり、経済的負担が軽くなれば子どもを産み育てやすくなり、移住も増え、人口減少も緩やかになるものと思いますので、しっかり取り組んでいきたいと考えています。

また、子育て支援マップを作成し、子育てをサポートしてはとのご提案でございます。

実は、提案のマップのようなものを、現在、子育て支援センターでとりまとめを行っており、今年の3月完成を目標に取り組みをしているところでございます。これも、子育てする上で非常に重要なことだと認識しています。よりよい子育て支援マップを作成していきたいと思っていますので、皆さんの知っておられるお店のいい情報があれば、教育委員会まで情報をお寄せいただきますようよろしくお願いいたします。

- 議長（山口 浩一君） 岩崎議員。
- 議員（12番 岩崎 晃大君） 以上で質問を終わります。
- 議長（山口 浩一君） 以上で、岩崎晃大議員の一般質問を終わります。

-
- 議長（山口 浩一君） 以上をもって、本日の日程はすべて終了しました。
これにて、平成29年度北栄町高校生議会議会を閉会します。

午前10時37分閉会

高校生議長あいさつ

- 議長（山口 浩一君） 鳥取中央育英高校をはじめとし、よりよい北栄町、日本から注目されるような北栄町を皆さんで協力しあってつくっていきましょう。どうもありがとうございました。
-

上記会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

高校生議会議長

署名議員

署名議員
